

第 1 節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が3港(秋田港、船川港、能代港)、地方港湾が2港(本荘港、戸賀港)あり、県が港湾管理者として施設整備や管理運営を行っています。

秋田港は、中国・韓国との外貿コンテナ航路、秋田港と神戸港を北九州港経由で結ぶ日本海航路、北海道・北陸を結ぶ内航フェリー航路及び背後の道路網等の整備により、秋田県の産業を支える重要な物流拠点となっています。また、クルーズ船受入による観光振興や、災害時の緊急物資輸送拠点としての役割のほか、洋上風力発電の基地港湾としての役割も担っています。

船川港は男鹿地域の物流港として、また、国家石油備蓄基地としての役割を担っています。

能代港は、大規模な火力発電所が立地するなど、県北部におけるエネルギー拠点として、また、リサイクルポート(総合静脈物流拠点港)としての役割のほか、秋田港と同様に洋上風力発電の基地港湾としての役割も担っています。

地方港湾の本荘港及び戸賀港は、海洋性レクリエーション基地や観光振興基地として利用されています。

基地港湾

○洋上風力発電設備の設置及び維持管理においては、重厚長大な資機材を取り扱う耐荷重・広さを備えたふ頭(岸壁・荷さばき地)が必要となる。

○国が基地港湾を指定し、再エネ海域利用法に基づく選定事業者等に対しふ頭を長期・安定的に貸し付ける制度を創設。

(令和2年2月施行改正港湾法)

○国土交通省は、秋田港、能代港、鹿島港、北九州港の4港を、改正港湾法に基づく基地港湾として、全国で初めて指定。

(令和2年9月2日)

2 各港の整備方針と事業計画

■秋田港

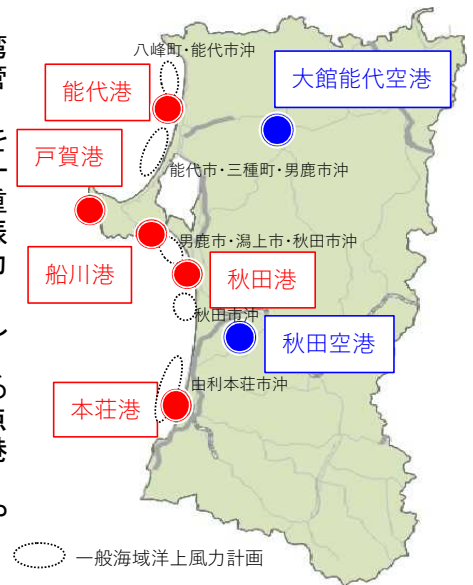
国際海上コンテナやフェリー貨物の取扱いに加え、洋上風力発電設備を取り扱う基地港湾として、日本海側の拠点となるよう機能の強化を図るほか、クルーズ船の受入環境の整備を行います。

[令和8年度主要事業]

環日本海交流拠点として、本港地区における岸壁改良工事の進捗を図るほか、発災時における港湾利用者の安全性を確保するため津波避難施設を整備します。

また、航行船舶の安全を確保するため、防波堤等の外郭施設の整備及び泊地浚渫等を行います。

◆港湾・空港位置図



秋田県沿岸における洋上風力発電の進捗状況

事業段階	事業箇所
①事業中	能代港(R4.12.22運転開始) 秋田港(R5.1.31運転開始)
②事業者選定済	男鹿市・潟上市・秋田市沖 (R5.12.13) 八峰町・能代市沖(R6.3.22)
③再公募予定	能代市・三種町・男鹿市沖 由利本荘市沖



秋田港全景(令和7年7月撮影)

■船川港

地域産業の振興に貢献するとともに、洋上風力発電産業を支える港湾として機能強化を図るため、施設の整備を推進します。

[令和8年度主要事業]

港湾利用の促進に向けた環境整備、発災時における緊急物資受入と供給のため耐震強化岸壁を整備します。

また、港湾利用者の利便性を向上するため、臨港道路舗装補修を推進します。



船川港全景(令和7年6月撮影)

■能代港

地域産業の振興に貢献するとともに、洋上風力発電設備を取り扱う基地港湾として機能強化を図るため、施設の整備を推進します。

[令和8年度主要事業]

航行船舶の安全の確保や港湾利用者の利便性を向上するため、航路浚渫及び臨港道路舗装補修を推進します。



能代港全景(令和7年6月撮影)

■本荘港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理及び施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和8年度主要事業]

施設の維持管理等を実施します。



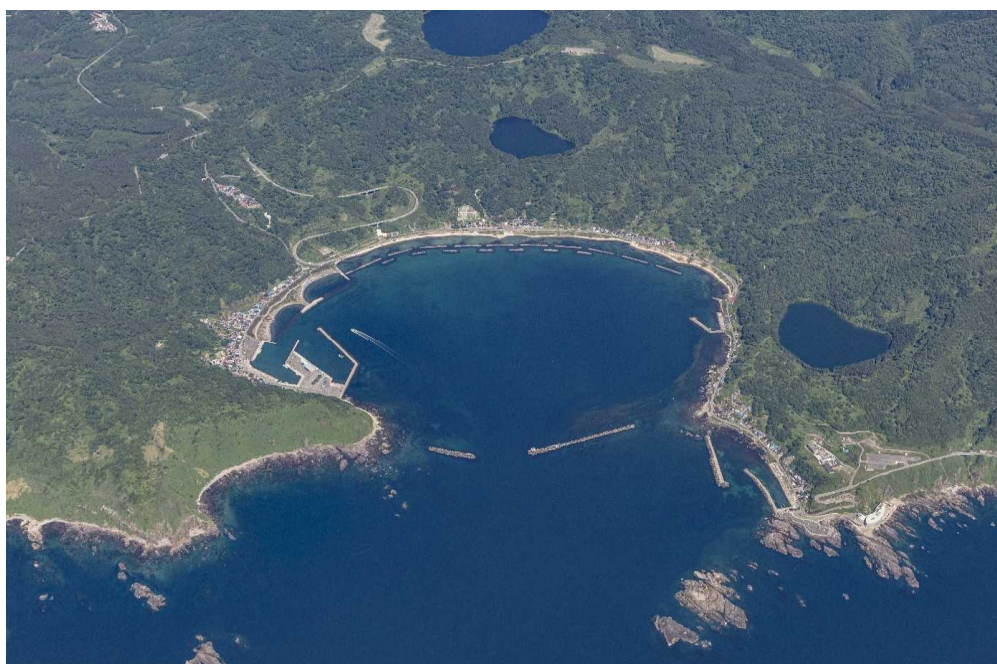
本荘港全景(令和7年7月撮影)

■戸賀港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理及び施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和8年度主要事業]

施設の維持管理等を実施します。



戸賀港全景(令和7年6月撮影)

3 クルーズ船受入環境整備

寄港効果の最大化による地域の活性化と観光振興を図るため、官民協働組織の「あきたクルーズ振興協議会」と連携し、安全安心な受入態勢を維持します。

[令和8年度主要事業]

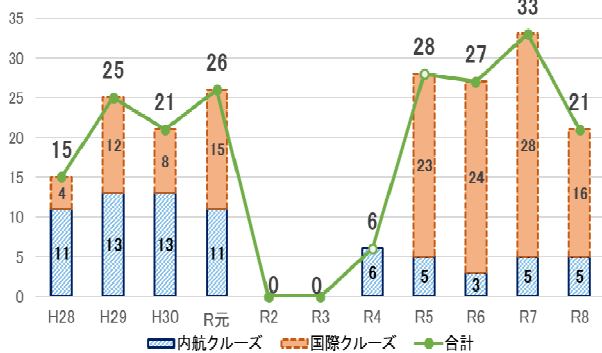
受入関係者との連携を図りながら、安全・安心な寄港の受入に努めます。

また、秋田港本港地区を交流拠点とするため、岸壁整備を推進します。

秋田港本港地区交流拠点整備の将来イメージ



秋田県へのクルーズ船寄港実績と寄港予定 (令和8年4月1日時点)



本港地区 岸壁整備

第2節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は 国設置、県管理空港として県央部の秋田市雄和椿川に位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

昭和56年6月26日に開港し、就航路線は、東京、大阪、札幌及び名古屋の4路線であり、広域交通の拠点として定着しています。また空港周辺は、580haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。

新型コロナの影響で利用者数は低迷していましたが、令和7年の利用者数は1,274,982人となり、対前年比で103.8%まで回復しています。

また、令和5年12月には秋田空港と台湾・桃園国際空港(桃園市)を結ぶチャーター便の運航が始まり、インバウンド誘客による観光振興に大きな期待が寄せられています。



秋田空港全景(令和7年8月撮影)

◆空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長/6,455m 幅/5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	69,449㎡(3,105台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田市雄和椿川	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識/距離測定装置)
空港の標点	北緯39° 36' 56" 東経140° 13' 07"		
空港の標高	93.05m	通信施設	一式
空港の種別	特定地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,589,656㎡	消防施設	40t水槽8基(化学消防車3台)
着陸帯	長/2,620m 幅/300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,500m 幅/60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995㎡)国際線棟(一部3階建3,620㎡)
誘導路	長/2,830m 幅/30~34m	貨物ビル	2棟
エプロン	長/310m 幅/190m(5パース)	給油施設	200kl/2基
排水施設	一式	燻蒸・焼却施設	一式

[令和8年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した航空灯火施設の更新やエプロン施設の補修を行います。
降雪時の遅延や欠航を減少させるため、除雪隊「雪戦隊なまはげ」による国内最速級の除雪を行います。

2 大館能代空港の概要

本空港は、県設置、県管理空港として県北部の北秋田市脇神に位置し、面積は約120ha、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京の1路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設を備えています。

また、羽田発着枠コンテストにより、令和4年7月1日から羽田便が2往復から3往復となり、令和7年の利用者数は過去最多となる196,340人となりました。

県北地域における観光周遊やビジネスの結節点として、重要な役割を担っています。



大館能代空港全景(令和7年6月撮影)

◆空港施設の概要

設置者	秋田県知事	場周道路	長/5,423m 幅/5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	13,510㎡(386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	北秋田市脇神	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識/距離測定装置)
空港の標点	北緯40° 11' 31" 東経140° 22' 18"		
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計等)
空港の総面積	1,214,240㎡	消防施設	40t水槽9基(化学消防車2台)
着陸帯	長/2,120m 幅/300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,000m 幅/45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,062㎡)
誘導路	長/230m 幅/30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長/225m 幅/110m(4バース)	給油施設	200kl/1基
排水施設	一式		

[令和8年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した航空灯火施設や場周柵の更新を行います。